

あふれる音楽の楽しさを体感 国立音楽大学の皆さんと共に

9月3日、国立（くにたち）音楽大学の学生54人が、小学校・中学校を訪れ、音楽の授業やミニコンサートで、児童・生徒と交流しました。

小学生を招いてのミニコンサートでは、「国音音楽合唱団」として、すばらしい合唱を聴かせました。学生が四部合唱に編曲した3小学校の校歌も披露。胸をすくハーモニイが多目的ホールに響



歌詞のシーンを演じて合唱をさらに楽しく



同大で30年ぶりに復活した「合唱行脚」での来県

くと、児童も心のこもった拍手で応えていました。演奏後、代表の児童は「たくさんの楽器が響いているようで本当にすごかった」と感動を伝えました。同行した同大の先生方からは「この学校の子ども達は、声が出ていてしっかり歌える」とおほめの言葉もいただきました。音楽が心をつなぐ、あたたかなひとときでした。

日本を代表するアスリートと キッズアスレティックスで交流

9月5日、草野・飯樋・白石小学校で、「キッズアスレティックス」の特別授業が行われました。これは「東京マラソン財団」が、東京マラソンチャリティ基金を活用して実施しているもので、日本人が来校し、3～6年生と先生方に、プログラムを伝授しました。

後半には、児童と一緒に先生方も参加して、「ミニ東京マラソン」が行われました。一同は、ランナーやスタッフ、応援役などを交互に体験。多くの人に関わることで、マラソン大会の感動が生まれていることを体感していました。

児童がいきいきと楽しんだキッズアスレティックスの用具一式は小学校に贈られ、引き続き授業などで、活用されるということです。



ランナー体験の後はスタッフにも挑戦



投げるフォームや駆け足のコツも教わりました



ヨーロッパ EUROPE × 飯舘村 「未来への翼」北欧に行く！

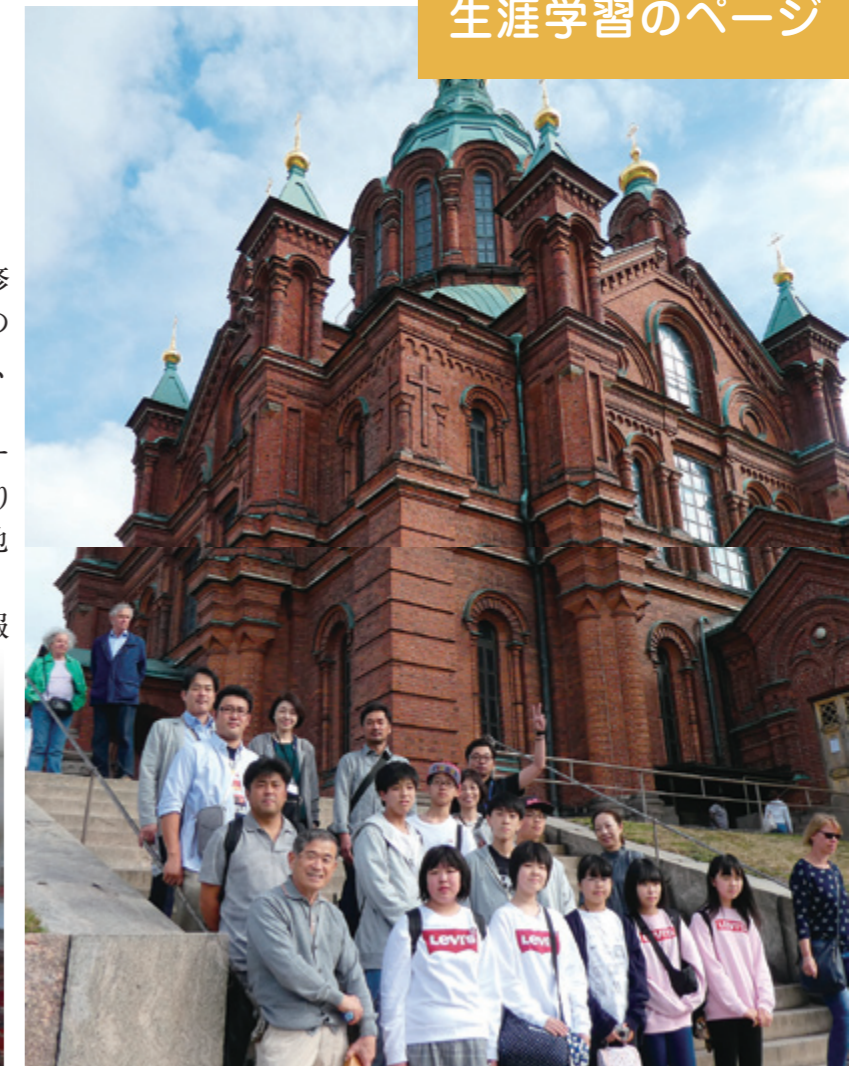
8月13日から20日まで、「未来への翼」北欧研修を行いました。今年は、中学生に加え、これからの村をリードしていく30代から40代の村民、スタッフ、合わせて18人が参加しました。

一行は、世界の中でも幸福度が上位のスウェーデンとフィンランドの幼児教育、高齢者福祉の取り組みを視察。中学生はホームステイを通して現地の方との交流も楽しみました。

詳しくは、10月27日の「いいたて村文化祭」で報告します。ぜひ、足をお運びください。



認知症患者の専門施設「シルビアヘメット」



ヘルシンキのウスペンスキー寺院にて



参加した中学生はこんなことを感じて帰国しました

- 英会話ができればもっと楽しいだろうと思った。勉強して英語が好きになりたい。
- レンタル自転車や自転車専用の道路などがあって、環境に優しい取り組みが行われていた。
- ホストファミリーと一緒にサウナに入り、裸の付き合いで仲がより深まった。
- 世界で最も早く女性の参政権を認めた北欧は、男性も女性も幸福な国々だと思った。
- 保育園でも高さのある遊具で思い切り遊ばせていて「自己責任」という考え方が徹底されていた。



ストックホルム市庁舎の「黄金の間」



日本から持参した紙風船や竹とんぼを紹介